



ダイヤモンドカップホイール 取 扱 説 明 書

事故防止と、安全にご使用いただくために、ご使用前に、このダイヤモンドホイール（以下、ホイールという。）の取扱説明書とケース記載事項、電動工具の取扱説明書を必ずお読みください。

下線を付けた用語は、取扱説明書中の用語集で説明しています。
標識の説明は9ページに記載してあります。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社**
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号
お客様相談室 ☎0120-509-849
E-mail: techno.center@trusco.co.jp
<http://www.orange-book.com/>

取扱を誤ると事故やけがの恐れがあります。

取扱を誤った場合、発生が想定される危険、損害の程度をつぎの3段階に分類し、表示しています。

危険 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
警告 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
注意 取扱を誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合または物的損害のみ発生が想定される場合。

重 要

- 事故防止と、安全にご使用いただくために必ずおまもりください。
- 電動工具メーカー指定の保護カバー（ホイールガード）を必ず正しく取り付けてください。ホイールが破損したとき、飛散した破片が直接当たり、大けがの危険があります。
- 回転中のホイールに、絶対に手や身体で触れないでください。大けがの危険があります。

ホイール本体に表示されている次の事項を必ずおまもりください。
ご使用前に取扱説明書を必ずお読みください。
保護カバー、保護メガネを使用してください。

乾式用 最高回転速度			
D mm	100	125	
rpm	14,500	12,200	

1. 作業環境

△ 危 険

- 電動工具メーカー指定の保護カバー（ホイールガード）を必ず正しく取り付けてください。ホイールが破損したとき、飛散した破片が、作業者に直接当たり大けがの危険があります。

△ 警 告

- 作業場所には、関係者以外は近づけないでください。
ホイールが破損したとき、保護カバー（ホイールガード）があっても破片は飛び出すので、破片が当たりけがの恐れがあります。
- ホイールは使用中に火花を発生することがあります。引火や爆発の恐れのある場所では使用しないでください。

留意事項 ●ホイールは使用中に騒音を発生します。周囲に迷惑を掛けないようご注意ください。

2. 服装、保護具

△ 警 告

- 作業者は保護メガネ、安全靴、保護帽の保護具を必ず着用してください。
ホイールが破損したとき、破片が直接当たりけがの恐れがあります。
- 作業者は防じんマスク、耳せんの保護具を必ず着用してください。粉じんを吸入し、喉や肺などの呼吸器を傷めることがあり、騒音で、耳に傷害を起こすことがあります。

△ 注 意

- きちんとした服装で作業してください。ネクタイ、ソデ口の開いたもの、編み袋などは、身に付けないでください。長髪は、帽子やヘアカバーでおおってください。
回転中のホイールや、電動工具の回転部に巻き込まれて、けがの恐れがあります。

3. 使用 前

△ 警 告

- ホイールに表示されている最高回転速度より低い無負荷回転速度の電動工具を使用してください。ホイールの寸法が電動工具に指定されている寸法に適合していることをご確認ください。
ホイールが破損し、けがの恐れがあります。
- ホイールに曲がり、ひび割れ、欠けの傷がないことを眼や手で確かめてください。更に、ホイールの刃部、基板部の摩耗については異常がないことを確かめてください。
これらの傷を発見した場合、刃部、基板部の異常摩耗を発見した場合には、絶対にホイールを使用しないでください。
ホイールが破損し、けがの恐れがあります。

- 電動工具のホイールを取り付ける主軸にガタや振れのないものをご使用ください。
主軸の振れが大きいと、ホイールが異常振動を起こして破損し、けがの恐れがあります。

△ 注 意

- ホイールは指定された被削材以外には使用しないでください。適用被削材はホイールのケースに表示してあります。
被削材にあわないホイールを使用すると、異常摩耗や切れ味不良、異常過熱が発生します。無理に作業続けると、ホイールが破損し、けがの恐れがあります。



- 湿式研削用ホイールは、湿式用の電動工具でご使用ください。必ず漏電しゃ断器を設置して使用してください。
誤って、乾式用の電動工具で水を掛けてご使用になると感電事故の恐れがあります。湿式用ホイールを、乾式用の電動工具でご使用になると、切れ味が悪く異常過熱が発生します。
- ホイールへの再加工（穴径修正、取付穴加工など）が必要な場合は、メーカーへ依頼してください。
再加工面が不良な場合は、正しく取り付かないので事故の恐れがあります。

4. 取 付

△ 警 告



- ホイールの取付け時には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
不意に起動し、けがの恐れがあります。

△ 注 意



- ホイールの取付手順については、電動工具の取扱説明書の指示をおまもりください。
- ホイールの中心穴径に合っているフランジを使用してください。
フランジは、すり減り摩耗や異物の付着がないものを使用してください。
- リングを使用する場合は、中心穴径にあったリングを使用してください。
ホイールの中心穴径又はリングをフランジや主軸に合わせ、ガタや振れのないようにフランジとナットで緩まないようにしっかり締め付けてください。

（裏面もお読みください。）

△ 警 告



- 電動工具は使用回転速度に到達した後、1分間程無負荷回転し、異常音、異常振動が無いことをご確認ください。
異常音、異常振動のまま使用しますと、ホイールが破損し、けがの恐れがあります。

5. 使用 中

△ 危 険



- 回転中のホイールに、絶対に手や身体で触れないでください。
大けがの危険があります。

△ 警 告

- 無負荷回転して異常がなければ、切り込みを少なくして試し研削をし、ホイールの刃部の外周が均等に当たるようにしてください。
均等な当たりにならないと一部の刃部外周に高い負荷が掛かり、ホイールの刃部や被削材が破損し、けがの恐れがあります。
- しっかりした足場で、身体の安定を保って使用し、電動工具に振り回されたり、落としたり、ぶつけたりしないでください。
ホイールに曲がり、ひび割れ、欠けが生じて破損することがあります。
- 加工する被削材をしっかり固定してください。作業が不安定になり、被削材が欠けて飛んだり異常な食い込みを起こし、事故の恐れがあります。
- 電動工具の銘板に表示されている定格出力以上では、絶対に使用しないでください。
切れ味の低下、異常加熱を発生し、ホイールを破損し、けがの恐れがあります。
- 研削中に異常音、異常振動が生じたときは、直ちに作業を中止してください。
異常音、異常振動のまま使用しますと、ホイールが破損し、けがの恐れがあります。



- 切れ味が悪くなったときには、目立て（ドレッシング）をしてください。
そのまま研削を続けると、異常過熱を起こしてホイールが破損し、けがの恐れがあります。

留意事項

- 乾式使用の場合、過熱を防ぐために長時間の連続使用はお避けください。

目立て（ドレッシング）のやり方

- 目立て（ドレッシング）は粗目の砥石または軟質被削材（コンクリートブロック・レンガ・砂岩）を研削してください。

6. 使用 後

△ 警 告



- 使用後は電動工具の電源スイッチを「切り」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
不意に起動し、けがの恐れがあります。

△ 注 意



- 使用直後のホイールは高温になっている場合がありますので、手などを触れないでください。火傷の恐れがあります。

留意事項

- ホイールが冷えてから、ホイールに曲がり、ひび割れ、欠けの傷がないことを眼や手で確かめてください。
- ホイールは、落下や衝撃が加わることの無い場所にきちんと保管してください。

用 語 集

1. ダイヤモンドホイール

ダイヤモンド砥粒を刃部に使用した回転工具。
高速回転し、被削材を切断や研削するのに用いる。

2. 保護カバー（ホイールガード）

ダイヤモンドホイールが回転中に破損した際、飛散する破片から使用者を守るための覆い。
使用者が回転中のダイヤモンドホイールに接触して負傷するのを防ぐ役目も持つ。

3. 保護具

切断や研削作業の際に、ダイヤモンドホイールが回転中に破損したとき飛散する破片から使用者を守るための防具。被削材の飛散する破片及び粉じんより防護の役目も持つ。保護具の種類としては、保護帽、保護メガネ、安全靴、各種マスク、耳せんなどがある。

4. 無負荷回転速度

ダイヤモンドホイールを取り付けて空転させたときの回転速数。

5. 曲がり

ダイヤモンドホイールが平行、平面状態でないこと。

6. ひび割れ

ダイヤモンドホイールの基板部や刃部にさげ目や割れ目があること。

7. 欠け

ダイヤモンドホイールの刃部に部分的に欠損があること。

8. 刃部、基板部の異常摩耗

刃部の側面の摩耗が外周の摩耗より大きく、刃部の厚さが細る場合、或は刃部の両側面の形状が明らかに異なる摩耗をした場合が、刃部の異常摩耗。
基板部に、細かなすり傷に比べてやや大きな形状の溝やくぼみがついた場合が基板部の異常摩耗。

9. 適用被削材

被削材は建築土木材料（コンクリート、アスファルト、セメント系建材、FRP、塩ビ樹脂）、石材（御影石、大理石）、窯業材料（タイル、カワラ、レンガ）などに分類される。

10. ガタ

フランジを使用機械の主軸にはめ込んだときのスキマが大きいこと。
ダイヤモンドホイールをフランジにはめ込んだときのスキマが大きいこと。

11. 振れ

ダイヤモンドホイールを使用機械に取り付けたときの、ダイヤモンドホイール外周及び側面のブレ。

12. 湿式

加工時に冷却水をかけること。

13. 乾式

加工時に冷却水をかけないこと。

14. フランジ

ダイヤモンドホイールをはさみ込んで使用機械の主軸に取り付けるために用いるリング状の取り付け具。

15. リング

ダイヤモンドホイールの中心穴径がフランジの径より大きいときに中心穴にはめ込んで用いるリング。

標 識 の 説 明



警告、注意、危険の恐れ的一般



義務行動一般



禁止



接触禁止



保護メガネの着用



安全靴の着用



防じんマスクの着用



保護帽の着用



聴覚保護具の着用



感電に注意



電源プラグをコンセントから抜け



高温に注意